

「ニュースポーツ紹介」 「キンボール」

町教育委員会が主催している「出前スポーツ教室」のプログラムに「キンボール」を新設しました。キンボールの「キン」は、英語の「キネシス」の略で「運動感覚」の意味を指します。励まし、助け合い、感動の共有や協調性を高める。そんなコンセプトを具現化したスポーツがこのキンボールです。



大きなボールに興味津々

キンボールの一番の特徴は、大きなボールです。直径1.7m22号、重さ1kgで、他の球技スポーツと比べ、

その大きさに最初は戸惑う方もいけません。小学校の運動会でやった、大玉転がしの玉を少し小さくしたようなものに近いです。

そのボールでサーブ（キンボールではヒットといいますが）をし、レシーブをする。基本的にはそれだけの単純なスポーツなので、ルールを覚えれば、小さな子どもでも大いに楽しむことができます。

ゲームは1チーム4人、ピンク、グレー、黒の3チームで計12人のプレイヤーで行われます。

試合は、3人がボールを支え、残りの一人が床（地面）と水平以上の角度で、1・8m以上遠くにボールを打つ「ヒット」と、ヒットしたボールをノーバウンドで受け止める「レシーブ」が繰り返され、失敗したり反則をした場合は、他の2チームに1点ずつが入ります。ヒットの際には、ヒット



チームで協力してボールを打ちます

するチームの誰か一人が「オムニキン」（色の名前）と、レシーブするチームを指定して打たなければなりません。この変わった掛け声もキンボールの特徴の一つです。以上が基本的なルールです。

6月に小学校低学年児童を対象として開いたキンボール教室では、児童は遊園地のぬいぐるみに駆け寄るように大きなボールの周りに集まり、すぐにゲームを楽しむようになりました。小さな子どもから高齢者まで、楽しみながら気軽に運動するには最適な種目といえます。子ども会などのレクリエーションに積極的にご利用ください。お問い合わせは町教育委員会まで。

平泉クラブがベスト16入り

県少年軟式野球大会

第36回県少年軟式野球大会が6月23日、24日、30日の3日間、奥州市胆沢野球場などで行われ、平泉クラブ（平泉中野球部）がベスト16入りを果たしました。西磐井郡第1代表として出場した平泉クラブは、接戦の末1回戦を突破。惜しくも2回戦で敗れましたが、今後の活躍に大きな期待をふくらませる戦いでした。



西磐井郡予選を制した平泉クラブ

試合結果は次の通りです。
【1回戦】平泉7 6遠野（遠野）
【2回戦】平泉5 6宿戸（九戸）

世界大会の金メダリストを岩手から「いわてスーパーキッズ」募集！

県教育委員会では「世界大会の金メダリスト」を県内から輩出することを目的とする「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を行っています。

◎応募資格
岩手在住の小学校5・6年生
各小学校の新体力テストで総合評価A・B段階の児童

◎第1選考（10月27日）
江刺中央体育館（県南会場）で5種目の体力テストを実施

します。記録測定等で約200人が第2選考へ進みます。

◎第2選考（11月24日）
県営体育館で記録測定・三者面談を行い、80人程度が「いわてスーパーキッズ」として認定されます。

認定された児童には毎月1～2回の育成プログラムを実施し、能力開発を行っていきます。

◎申し込み・問い合わせ先…県体育協会029-648-1600

平泉中学校

県大会出場

7月14日から16日まで中学校総合体育大会県大会が行われます。本校からは、野球部、バレーボール部、男子バスケットボール部、ソフトテニス部、柔道部が出場します。相手は各地区予選を勝ち抜いた強豪ばかりですが、本校生徒も死力を尽くして戦いますので応援をよろしくお願いします。一関市は野球の会場（室根野球場）になっています。

7月終わりは補充学習

本年度も、7月末から始まる夏休みの最初に補充指導を行います。

少しでも効果が上がる内容にしたいと考えています。この期間、午前中は勉強に集中してほしいと考えています。また、部活動の終わった3年生にとっては受験勉強を開始する時期なので、頑張してほしいです。

その他の予定

- ▽6日 生徒総会
- ▽14～16日 県中総体
- ▽17～20日 期末面談
- ▽23日 1学期終業式

入道雲のようく 力強くたくましく

早いもので、20日から夏休みに入ります。今年の夏は暑そうです。プールの使用は、昨年より13日早い先月の8日に行いました。本校の児童は、元気に一学期のまとめに向かって頑張っています。今、本校の姿は、次の3つに表現できます。①落ち着きがあります。遅刻がなくなりつつあります。廊下歩行が良く



プールを元気に楽しむ児童たち

なっています。時間を守って行動しています。②意欲が満ちています。集中して

朝学習や授業に取り組んでいます。休み時間に外で遊ぶ児童が増えています。③学級や学年のまとまりがあります。集団行動が向上しています。このように、学校がより良い方向に変化しているのは、学校と家庭・地域がそれぞれの役割を自覚しながら、子育てのパートナーとして同じ方向に向かって連携合っているからだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

高田・宿泊学習実施 豊かな体験活動

5年生27人が、2泊3日の日程で、高田野外活動センターで集団宿泊学習を実施しました。これは、19年度文部科学省より「豊かな体験活動推進事業・長期宿泊体験の実施」の指定を受け、第1回目の活動として実施したものです。1日目は、唐桑町でホタテ貝の耳づくり作業の体験後、養殖棚の見学、環境保

護活動を通じた室根町とのつながりなど養殖漁業の実際に触れることができました。2日目は、いかだを作り海に浮かべてこいだり泳いで押したりして存分に楽しみました。最終日は、カヤックの体験で、怖い怖いと言いつつも一人も沈（転覆）することなく上手に操縦していました。3日間の活動で、自主性や協力することの大切さを改めて感じたようです。なお、この「豊かな体験



▶ホタテ耳づくり作業体験

活動」は、第2回目として、1月にも3泊4日の日程で実施する予定です。



野球応援の様子

期末面談を行います

17日の午後から全学年